

美咲 美佐子さん

特定非営利活動法人
岡山市子どもセンター
代表理事

プロフィール

氏名：美咲 美佐子（みさき みさこ）

■所属：特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 代表理事

■経歴：

1975年 小学校の養護教諭として5年間勤務の後、結婚を機に埼玉県狭山市に。その後、夫の転勤で岡山市へ。

1996年 岡山西部子ども劇場事務局長。

2000年 岡山市子どもセンター設立と同時に専務理事に就任。

2006年6月より現職。

その他、岡山市協働推進委員会委員、岡山市ESD推進協議会監事、岡山市芸術祭実行委員会監事、岡山県冒険遊び場づくりネットワーク監事、岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会委員、岡山県児童館連絡協議会事務局などを務めている。

■専門分野または得意なこと：子どもの育ちに関する分野



美咲 美佐子さん

特定非営利活動法人
岡山市子どもセンター
代表理事



特定非営利活動法人岡山市子どもセンターは、子どもたちの社会参画の機会を拡げ、子どもたちがのびやかで、豊かな「子ども時代」を過ごすことができるよう、多くのボランティアとともに生活文化環境づくりを進めています。岡山市子どもセンターが運営する「おかやまプレーパーク」は子どもがのびのびと思いっきり遊べるように禁止事項をなくし、やりたいことができるだけ自分の手で実現できる遊び場です。そして、『自分の責任で自由に遊ぶ』というモットーを掲げています。



美咲 美佐子さん

特定非営利活動法人
岡山県子どもセンター
代表理事

価値観

1. 他人を尊重すること
2. 何ごともおもしろがること
3. 誠実であること



美咲 美佐子さん
特定非営利活動法人
岡山市子どもセンター
代表理事

価値観を表すエピソード

1. 相手の意思を尊重すること

美咲さんにはお子様が3人おられます。(現在は全員自立されているそうです)



お子様が小さい頃にも母親としての考えを押しつけるようなことはなかったらしく...

自分の子どもに対しても「自分とは違う一人の人間」という感覚があったそうです。(どうしてそう思うようになったのか、美咲さんご自身も不思議に思われています)



そのような経験もあり、子どもに対しても一人の人間として接することは自己肯定感を育むことにつながると感じておられるそうです。



美咲さんのリーダーとしてのスタンスにも反映されており、岡山市子どもセンターはメンバーの主体性が尊重される組織となっています。



価値観を表すエピソード

2. 何ごともおもしろがること

美咲さんは「やる」か「やらない」の選択を迫られた際にはできるだけ「やる」を選ぶようにしています。

それによりだんだんと興味・関心の幅が広がり、様々なことが楽しいと感じられるようになりました。

そのような感覚があるので子どもに遊び方や楽しみ方を押し付けている場面を見ると違和感を覚えるそうです。

例えば、笑っていなくても、座っているだけでも楽しいと感じられる。子どもにも大人にもそのような感覚を知ってほしいと願っています。



美咲 美佐子さん
特定非営利活動法人
岡山市子どもセンター
代表理事

価値観を表すエピソード

3. 誠実であること

今でこそ知る人ぞ知る存在の美咲さんですが、



活動を開始した当初は話を聞いてもらえないこともたくさんあったらしく

嫌われている相手ほど、将来仲良くなっている姿を想像して、自分を奮い立たせていたそうです。



その時も相手に合わせたり、嘘をつくことはなく、自分の考えを率直に伝えることを心がけていました。



それが相手に対する誠実さであり、強い信頼関係の基盤になると信じていたからです。



美咲さんの信念が正しかったことは美咲さんの現在の交友関係の広さが証明しています。



美咲 美佐子さん

特定非営利活動法人
岡山市子どもセンター
代表理事

今力を入れていること

「質の高い芸術に触れる機会を岡山市でつくること」

子どもたちの感性によい刺激を与えられるような
世界水準のプログラムを岡山市に招聘する。



次世代のリーダーへ提供できるもの

リーダーは褒められることが少ない。
できるだけ労いの言葉をかけてあげたい。



美咲 美佐子さん

特定非営利活動法人
陣山子どもセンター
代表理事

次世代のリーダーへのメッセージ

「決断に責任を持つ。

自分の結論が最善であることを信じる。

反省は結果が出てからでよい。」

「他人がついてきているかを気にする必要はない。

自分が目指す方向さえ見えていればよい。」